

海岸漂着物等対策の実施状況（2021年度）等について

1 海岸漂着物等の回収・処理

県では、環境省の地域環境保全対策費補助金の海岸漂着物等地域対策推進事業を用いて、市町村等が実施する海岸漂着物等の回収・処理事業等に要する費用に対し、補助金*を交付し、円滑な回収・処理を推進。

2022年度も15市町村で海岸漂着物等の回収・処理事業等を実施予定。

※【補助率】通常：7/10、離島振興法に基づき指定された離島（県内では佐久島、篠島、日間賀島）：9/10。また、漁業者等がボランティアにより回収した漂流ごみ及び海底ごみの処理については、定額（上限1,000万円、10/10）。

海岸漂着物対策推進事業補助金の実績等（回収処理分）

2019年度		2020年度		2021年度		2022年度(予定)
補助額 (千円)	回収・ 処理量(t)	補助額 (千円)	回収・ 処理量(t)	補助額 (千円)	回収・ 処理量(t)	補助額 (千円)
26,578	459.5	28,719	442.7	30,163	497.3	30,370

2 発生抑制に関する取組

(1) 海洋ごみ発生抑制環境学習プログラム Web 研修

これまでに県が作成した環境学習プログラムの活用方法について、市町村や環境学習施設の職員を対象としたWeb研修を実施。研修資料や当日配信された研修動画をWebで公開中（<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/dl.html>）。

海洋ごみ発生抑制環境学習プログラム



(2) 環境イベントにおける海ごみ発生抑制普及啓発の実施

環境学習プログラムの体験などを通じ、海ごみ問題について知ってもらうため、以下の環境イベントにブースを出展し、普及啓発活動を実施。

ブースでは、動画上映や環境学習プログラム（カードゲーム）体験の実施、啓発パネルや海ごみの実物等を展示。

ブース出展の状況



SDGs AICHI EXPO 2021
2021年10月23日（土）

AICHI SKY EXPO（愛知県国際展示場）



三河湾大感謝祭

2021年10月24日（日）

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

(3) パンフレット「知ってる？あいちのうみのコト」のリニューアル

2016年度に制作したパンフレット「川も海も、ごみ箱じゃない！」をプラスチックごみ等の新たな情報、調査結果を取り入れ、「知ってる？あいちの海のコト」として、全面リニューアル。県内市町村や水族館へ配布。

(4) 海ごみゼロウィークへの参加

海ごみを削減する取組として、環境省と公益財団法人日本財団が連携し、5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）を経て6月8日（世界海洋デー）前後の期間を「海ごみゼロウィーク」と定め、海ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動の実施を呼び掛け。

本県では庁舎周辺の清掃活動を行いこの取組へ参加。県内16市町村でも清掃活動を実施。



(5) 「プラスチックごみゼロ宣言」の推進に係る取組

○ 事業者に向けたプラスチック資源循環に係るオンラインセミナーの開催

<実施概要>

実施日：2021年8月27日（金）14:00～16:00
 講演：枝廣淳子氏（大学院大学至善館教授、
 （株）未来創造部代表取締役社長、
 幸せ経済社会研究所所長）
 演題：プラスチック資源循環を巡る社会の変化、そ
 れぞれに求められること
 司会：栢田絵理奈氏（フリーアナウンサー）



○ 消費者に向けたプラスチックごみ削減等の動画の作成・配信

事業者向けオンラインセミナーの映像を消費者向けに編集し、インターネットで動画配信（10月6日～11月30日）。

また、動画配信の開始と併せて、SDGsのロゴマークをあしらった衣装を着用したナナちゃん人形を活用して、プラスチックごみゼロを呼び掛け（10月6日～10月12日）。



○ ワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみ削減取組の表彰

「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」*において、ワンウェイプラスチックごみの削減に関し、特に優れた取組を実施した事業者や団体を表彰する制度を新たに創設し、2021年度は優秀賞として以下の4者を表彰。

※公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用の促進を図ることを目的に、消費者、事業者、行政が相互に連携しながら、一体となってごみゼロ社会の形成を推進するため、1993年に設立した団体（会長：愛知県知事、会員：111団体）

受賞者	取組名称
株式会社折兼・ 株式会社パックススタイル（名古屋市）	植物原料100%からつくられた生分解性食品容器
株式会社豊和（名古屋市）	ホテルの使い捨てをギフトに変える 「ホテルアメニティ革命」
ユニー株式会社（稲沢市）	ユニーのプラスチック資源循環アクション
ワタミ株式会社（東京都大田区）	ワタミ宅食弁当容器回収リサイクルの環

(6) 2022 年度の取組予定

2021 年度と同様の環境イベントへのブース出展や海ごみゼロウィークへの参加等に加え、県内の小学校を対象とした環境学習プログラムのモデル授業の実施や、海洋ごみ発生抑制に関する川柳の募集等、海洋ごみへの関心を高める取組を実施予定。

また、消費者のプラスチックごみ削減の行動を促進する啓発動画の作成・配信も予定。

3 漂着ごみ組成調査の実施

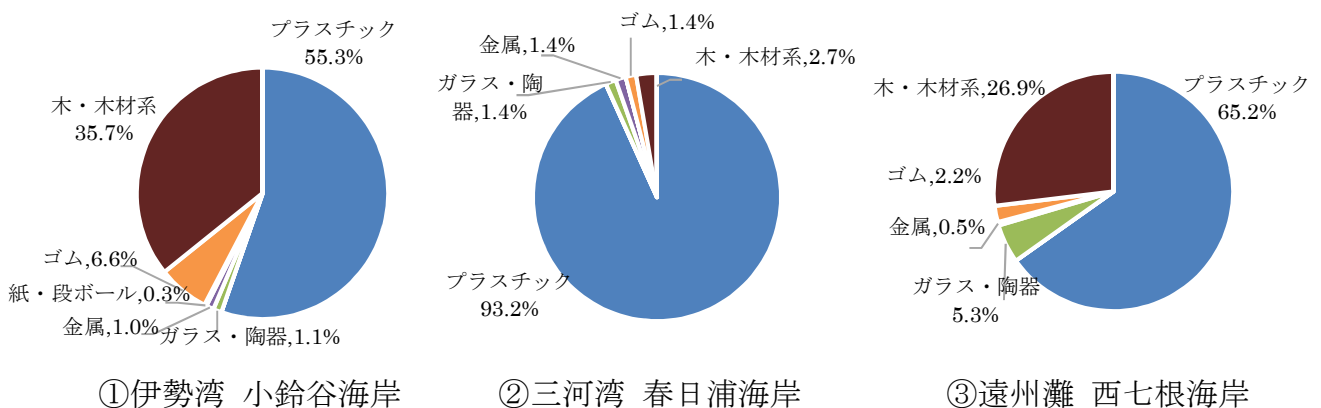
海岸漂着ごみの組成及び量並びにこれらの経年変化を把握し、漂着ごみの実態把握及び今後の漂着ごみ発生抑制対策を効果的に実施するため、伊勢湾、三河湾及び遠州灘の海岸各 1 地点において、2020 年度から漂着ごみの組成調査を継続実施。

<2021 年度の調査概要>

- ・調査地点（調査実施日）
 - ①伊勢湾 小鈴谷海岸（2021 年 11 月 10、11 日）
 - ②三河湾 春日浦海岸（2021 年 12 月 8 日）
 - ③遠州灘 西七根海岸（2021 年 11 月 9 日）
- ・調査方法
「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（2020 年 6 月第 2 版）」（環境省）に準ずる。



調査結果（人工物の大分類別組成比（重量ベース））



4 その他

愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市の三県一市で構成する「伊勢湾総合対策協議会」の下部組織として、2012 年度に設置された「海岸漂着物対策検討会」において、普及啓発事業や伊勢湾流域圏の複数自治体による地域計画策定に向けた検討などを進めている。